

【創育クリエートメールマガジン vol.11】 [防災教育を考える]

2018.6.22 発行

日頃は格別のご愛顧を賜りまして、ありがとうございます。

本メールは、弊社、創育クリエートが送信元となり、森上教育研究所の協力のもと、教育業界に関するさまざまな情報をお届けするメールマガジン「創育クリエートメールマガジン」です。

なお、本メールは、日頃お付き合いのある、学校関係者様、企業ご担当者様、以前にお名刺を交換させていただいた方へお送りしています。

さて、第10回「いまSDGsが熱い！」はいかがでしたでしょうか。

第11回のテーマは、「防災教育を考える」です。

ぜひ御愛読いただければ幸いです。

＝はなちゃんのはやあるき－防災教育を考える＝

『はなちゃんのはやあるき』という絵本があります。

東日本大震災で「奇跡の脱出」としてニュースになった岩手県野田村保育所の子どもを主人公に、当日の避難の様子を描いたものです。雪が舞う中、14名

の職員に付き添われた園児 90 名が、「だれも泣かず、だれもぐずらず」、予定の避難場所だった高台からさらに高い場所を目指して避難しました。保育所では、津波を想定して毎月避難訓練を行い、子どもたちはより早く高台へと登る練習をしており、それが全員無事の避難につながったそうです。自らの命を守るために行動する子どもたちの強さと、まわりの大人たちが子どもたちの強さを信じて避難に向かわせる様子が読む者の胸を打ちます。

今回の新指導要領の検討の中で、中央教育審議会の答申において、安全に関する資質・能力が次のように整理されています。

「知識・技能：様々な自然災害や事件・事故等の危険性、安全で安心な社会づくりの意義を理解し、安全な生活を実現するために必要な知識や技能を身に着けていること」

「思考力・判断力・表現力等：自らの安全の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、安全な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動するために必要な力を身に着けていること」

「学びに向かう力・人間性等：安全に関する様々な課題に関心を持ち、主体的に自他の安全な生活を実現しようとしたり、安全で安心な社会づくりに貢献しようとしたりする態度を身に着けていること」

また、同答申では、高等学校の特別活動の中で地域社会の安全への貢献を含めた主体的な行動を促していくことを求めています。

麴町学園女子中学校・高等学校の防災マニュアルには、地震などの自然災害の際の避難対応のほかに、住民や近隣オフィスの帰宅困難者の受け入れ対応についても詳細に記載されています。これは生徒自身が「安全で安心な社会づくりに貢献する」取組みの1つです。

東日本大震災や熊本地震では、多くの子どもたちが避難所運営で大活躍する姿が報じられていました。子どもたちは、災害対応の主体者として活動する力を持っています。的確に避難するだけでなく、こうした力は子どもたちの大切な「生きる力」の1つではないでしょうか。

先日、土木学会が発表した南海トラフ地震後 20 年間の経済被害額は 1,410 兆円、首都直下型地震が 731 兆円。東日本大震災から 7 年、熊本地震から 2 年が過ぎ、すでに風化が始まっていると言われていますが、あらためて学校としての防災のあり方、防災教育のあり方を考えることが必要なのではないのでしょうか。

(執筆：森上教育研究所アソシエイツ 高橋 真実)

いかがでしたでしょうか？

次回も皆さまにとって有益となるような教育情報のメールマガジンを配信できるよう努めて参りたいと思います。

なお、本メールマガジンですが、内容等についてのご意見、アドレス変更、配信停止については末尾の E-mail アドレスよりご連絡をお願いいたします。

■送信元：株式会社 創育クリエート

東京都港区西新橋 3-24-3

T E L . 03-5472-5772

【配信停止・お問い合わせ】

create@soiku-c.co.jp

【創育クリエートHP】

<http://www.soiku-c.co.jp/>

★リニューアルしました